



みかんぐみだより

2022年10月1日
尚徳福祉会おぐら保育園

暑さも落ち着き、秋らしい涼しい風が吹き、園庭にはトンボが飛び木々の葉も黄色に色づき始めました。黄色の落ち葉を手に取り、砂遊びのお皿に色を添えたり、嬉しそうに持ち歩いたりしています。遊び方も変わり、工夫する姿や登り棒や鉄棒に挑戦する姿も見られます。

春から夏が過ぎ6ヶ月経ち、子どもたちのやってみようとする気持ちや語彙が増えたことで友だちとの関わりを持とうとして、名前を呼ぶ声も聞こえています。積極的に行動している姿に成長を感じます。

寒暖差の激しい季節の変わり目は体調を崩しやすいので、体調管理に気を付け、秋の自然を感じられる遊びや散歩を楽しみたいと思います。

きのこの制作

絵の具のスタンプで、キノコの傘の模様を作りました。傘は6色の中から好きな色を2色選びました。以前はこわごわ絵具に触れていた子も手や顔につくほどダイナミックに絵具をつけるようになりました。

傘の下にはシールは、表情豊かな可愛い顔ができあがりしました。指先を使って台紙から剥がす小さなシールを上手に行える子が増えてきました。

やりたい気持ちが強く順番待ちの表情は「次は？わたし？ぼく？誰？早くやらせて」と言っているようでした。

🐾新しい図鑑と絵本🐾

★「のりもの」・「はたらくのりもの」・「どうぶつ」・「たべものどれが好き？」シリーズが人気になっています。一人で何冊も布バッグに入れて持ち歩いたり、「これは？」「これなに？」「どれすき？」と聞いたり物の名前を知りたがったりしています。

★「さかながはねて」・「どんないろがすき」・「おべんとうばこのうた」などの絵本を見ながら歌える本も大好きです。

ページにあった歌を歌い楽しんでいます。お弁当箱の歌にでてくる「穴の開いたれんこんさん」が給食の献立の“レンコンきんぴらとおんなじ”とつながったかな？

★「いろいろお世話になりました」・「おさかなちゃんのぴんぼ～ん」もお気に入りの絵本です。

～おねがい～

靴下入れや引き出し、かごや靴箱から自分で出して、自分でやりたい気持ちが大きくなってきました。やる気満々で行いますが、同じタイプやデザインのものも多くあり、子どもたちは、なんとなく取り出してしまうことがあります。名前をわかりやすいところに記入し名前の薄くなったものをご確認ください。

わかりやすくやりやすいものを準備していただけるとたすかります。

肌寒く感じられる日には、上着を着て園庭遊びをしたいと思います。

上着は、汚れても良いもので、フードやひもがなくお子様が着脱しやすい物をお願いいたします。

園庭用上着のかごにいらしていただき、靴やシートと共に週末に持ち帰りとなります。